

分詞構文 (時, 理由)

January 28, 2023

① 分詞構文の基礎

② 分詞構文 (理由)

③ 分詞構文 (時)

④ おまけ

分詞の復習

分詞

動詞が形を変えて形容詞の働きをするようになったもので、現在分詞と過去分詞の2種類がある。主に形容詞句を作って名詞を修飾する。

訳し方

現在分詞の場合、「～している」と訳す。過去分詞の場合、「～された」と訳す。

語・句・節

語・句・節とは

語・句・節

語・句・節とは

語 単語 1 語 1 語のこと

句 2つ以上の語が集まりひとつの意味のかたまりを成し， 1つの品詞のような働きをするもの

節 意味のひとかたまりの中に主語と述語動詞の関係 (S+V) があって、その部分が文として独立していないもの

◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ≡ ▶ ◀ ≡ ▶ ≡ ≡ ↺ 🔍 ↻

分詞構文とは

分詞構文

分詞が導く句が文を修飾する副詞の働きをするもの

二つの文を接続詞無しで繋げる

二つの文の主語は一致している必要がある

Written in plain English , this book is easy to read.

わかりやすい英語で書かれているので、この本は読みやすい。

→分詞が導く句が理由を表している

分詞構文の否定表現

分詞構文で分詞が作る句を否定表現にするには分詞の前に not をつける。

Not having a car , he has to walk to his office.

車を持っていないので，彼はオフィスまで歩かなければならない。

これは次のように書き換えられる。

Because he doesn't have a car, he has to walk to his office.

分詞構文 (理由) の書き換え

理由を表す分詞構文は接続詞”because”を用いて書き換えられる。

→分詞構文は接続詞を省略していると考えればよい

Having no money, I didn't see the movie.

→ I didn't see the movie because I had no money.

もとの分詞の動詞の時制に注意!!

時を表す分詞構文

He broke his leg playing soccer.

彼はサッカーをしていたときに足を折った。

→主文が起こった時に何があったかを分詞が作る句が説明している。

訳し方は二つの文を「とき」や「間」で繋げる。

→どちらを使うかは文脈で判断する。

時を表す分詞構文の書き換え

時を表す分詞構文は接続詞”when” もしくは”while” を用いて書き換えられる。

He broke his leg playing soccer.

→ He broke his leg while he was playing soccer.

また、接続詞の後ろのS,Vは省略されることもある。

He broke his leg while he was playing soccer.

→ He broke his leg while playing soccer.

分詞構文でよく使われるフレーズ2

- Considering ~
→ ~を考えると

例文：Considering her age, I don't think he can climb the mountain.

訳：彼女の年齢を考えると、私は彼女がその山に登れるとは思わない。

- Taking A into consideration
→ A を考慮に入れた場合

例文：Taking everything into consideration,
do you think you should buy a house?

訳：全てのことを考慮に入れた場合、家を購入すべきだと思いますか？

